

ROSSO

Art of
Car Life

イタリア 万歳!

All supercars lead to Italia



Special Feature

スーパーカーの源流はイタリアにあり

[最新スーパーカーができるまで]

ランボルギーニ・ウラカンLP610-4

[芸術にまでなったスーパーカー]

パガーニ・ウアイラ & ゾンダF

[初心者のためのスーパーカー巡礼ガイド]

ROSSO的イタリアの歩き方

[100周年を迎えた老舗イタリアンブランド]

マセラティ・ギブリで迎える100年の歴史

[跳ね馬の遺伝子を受け継ぎしもの]

フェラーリDNA

[本物の買祿]

アヴェンタドール再考

[晴海がイタリアに染まった日]

ラ・カロツェリア・イタリアーナ '77

Special Feature-2

ROSSO的GT ~至高の旅路~

ベントレー・コンチネンタルGT

V8 コンバーチブル × 神戸・六甲

ロッソ

5

No.202
May. 2014

特別定価 980yen



共鳴しあうフィロソフィー



ROSSO GRAND TOURING

HOTEL LA SUITE KOBE

「香り」「花」「音楽」の3つにこだわりを持つだけあって、ロビーやエレベーター内にもアロマの香りが漂い、訪れる人をもてなしてくれる。客室に入ると生花が生けられ、壁面を飾る絵画も花がモチーフだ。毎晩、ラウンジ&バー「グラン・ブルー」ではジャズライブが行われ、日本に3台しかないといわれるスタインウェイのピアノが使われる。エラバシェのシャンプー&リンス、フィットメールのバスソルトなどのアメニティが取りそろえられている。また食にもこだわりがあり、淡路・摂津・丹波・但馬・播磨の五国の食材を活かしたメニューを堪能できる。この五国の味のいづれかをフューチャーした「五国の味めぐり」は現在、「播磨フェア」を開催中。

ホテル ラ・スイート神戸ハーバーランド/所在地:兵庫県神戸市中央区波止場町7-2 TEL:078-371-1111 URL:<http://www.l-s.jp>

時間の速さが違って見えるようにさえ思
う。旅は先を急ぐだけではないと、コ
ンチネンタルGT V8 Cが教えてくれ
るよっだ。

しばし、眼前に広がる夜景シヨ
に見入っていると、1995年に起きた
阪神・淡路大震災前に六甲山上の回
る十国展望台から見た夜景を思い出
した。回る展望台は2002年に老
朽化もあつて解体撤去されたが、眼
下に広がる神戸の夜景は、あの時と同
じく美しく輝いている。しかし、実
際には震災前とは違う街の灯りなの
だ。神戸の夜景を眺めていると、わ
れわれのような旅人には、すでに震
災からの復興は終わっているように思
えてしまう。思い起こせば、90年代
はベントレーにとっても激動の期間だ
った。1998年にVWグループが買
収。フライングBのエンブレムこそ同じ
であるが、中身はそれまでとまったく
違う先代コンチネンタルGTが生まれ
2008年にはベントレー史上最大の
販売台数を記録する。まさしくベント
レーの復活の瞬間だった。その屋台骨
となつたのは、紛れもなくコンチネン
タルGTであった。そして新たに生まれ
変わった現行コンチネンタルGTにV8
エンジンが搭載されるに至り、再びベ
ントレーに活気が戻ってきた。神戸の
街の灯りにベントレーの歴史を重ねな
がら、この日の宿泊先に向かうべく六
甲山を下りることにした。

包み込む優しさ

メインエントランスの扉を開けてエン
トランスホールに足を踏み入れた瞬間、
コンチネンタルGT V8 Cのコクピット

に身を委ねたときと同じような、質の
高い時間と空間が約束されていること
が直感的に伝わってきた。客室と同じ
く、パブリックスペースにもアロマの香
りが漂い、心地よい音楽が静かにロビーに
流れている。

2008年にオープンしたホテルラ
スイート神戸ハーバーランド(以下ラ
スイート神戸)は、全客室がテラス付
きのオーシャンビュー。70m以上の客
室の全てに大型ジャグジーが備わり、
神戸ウオーターフロントの夜景を眺め
ながら、ジャグジーで身体を癒やすこ
とができる。日本のおもてなし文化の
良さと、ホテルの機能性や居心地の良
さが融合し、その名の通り「組曲(ス
イート)」のようにエレガントかつ洗練
された時間を提供してくれる。そう
したこともあり、2010年には英国
に本部を置くスモールラグジュアリー
ホテルズ・オブ・ザ・ワールドに日本の
ホテルとして初めて加盟を許された経
緯をもつ。

実は、ラ・スイート神戸は、神戸
市が推進する都心ウオーターフロント
事業の一端を担うホテルという側面も
ある。それは、神戸の震災復興を担
うことにはかならない。そのため、食
材は地元のもの中心に使う地産地消
がモットー。200軒以上の兵庫県の
生産者を訪ね、生産者から直接新鮮
な食材を仕入れるというこだわりよ
うだ。吟味して選ばれたウッドやレザー
をふんたんに使い、クルーのファクトリー
で組み立てられるベントレーにその姿
勢が重なる。コンチネンタルGT V8
Cで行く至高の旅路には、ベントレー
のフィロソフィーと共鳴するラ・スイ
ート神戸のようなホテルが相応しい。R



ROSSO GRAND TOURING



BENTLEY Continental GT V8 Convertible

ベントレーのオープン・ツアラーの歴史は長い。その伝統に則っ
て、現代の解釈を加えて作られたのが、コンチネンタルGT V8
コンバーチブルだ。オープンにしたときの流麗なスタイルはもちろん、
クローズドの際の低いルーフラインもクーペとはひと味違った
美しさを備えている。クルーのファクトリーで、職人達が手作業に
より丹念に仕上げたインテリアの数々は、工業製品でありながら
人の手の温もりを感じさせる工芸品のようでもある。このキャビン
に乗り込んだら、時間の流れさえも優雅に時計の針を刻むかの
ようだ。507ps/660NmのV8でも不足は感じないが、さらに
528ps/680NmへとパワーアップしたV8 Sもラインナップされた。

ベントレーだけがもつ時間軸

